



課題やビジョンを話し合う若手生産者

**12/17**  
**若手生産者の  
課題を共有**

若手生産者研修会を開き、生産者や関係機関など63人が参加しました。千葉琢磨さん（ナス、花泉）、那須一樹さん（トマト、東山）、及川務さん（果樹、大東）が経営内容や部会の若手グループの活動などを発表しました。班に分かれ課題やビジョンを話し合いました。



豆腐作りをする部員

**12/18**

**出前授業へ豆腐作り確認**  
**JA女性部花泉中央支部**

地産地消グループ15人は、豆腐作りの勉強会を行いました。あらかじめ水に浸しておいた大豆をつぶし煮た後、豆乳とおからに分けて豆乳を70℃まで温める作業や豆腐を型に入れて固める作業を確認しました。花泉小学校での出前授業で児童と一緒に作る予定です。



表彰を受ける遠藤さん<sup>㊦</sup>

**12/17**

**作文の部特選に遠藤さん**  
**JA共済連若手**

第68回JA共済児童生徒作品コンクールの表彰式が盛岡市で開かれました。県内の中学校から、作文や書道、絵画、交通安全全ポスターの4部門に2119名の応募があり、当JA管内からは赤荻小学校1年の遠藤珠羽さんが作文の部で特選を受賞しました。



完成した門松に笑顔の部員

**12/19**

**手作りの門松で新年迎え**  
**JA女性部一関中央支部萩荘支部**

みちのくあじさい園のプリザーブドフラワーなどを使った門松を作りました。花と泉の公園から講師を招いて、参加した部員9人は、色合いやバランスを考えながら花材を配置し個性あふれる門松を完成させ、玄関などに飾って新年を迎えました。



米作りの感想を話す児童

**12/19**

**おにぎり作り指導に感謝**  
**滝沢小学校（一関）**

5年生19人は、地元農家やJA職員を学校に招き、米作り体験学習感謝の会を開きました。JA一関青年部真滝支部の指導で育てた「ひとめぼれ」のおにぎりでもてなした他、田植えや稲刈り、脱穀作業の体験をもとに感想を班ごとにまとめ発表しました。



12/20

## 乳質事故防止に 向け学習

J A 酪農部会

磐井地方乳牛改良検定組合との共催で令和6年度酪農講習会を開き、部員や関係機関31人が参加しました。搾乳機器の適切な洗浄などによる乳質管理や初生牛の哺育管理などを学び、乳質事故の防止やスモール価格の確保に向けて、作業の確認をしました。



乳質管理や初生牛の管理を学んだ酪農講習会

12/19

## 出荷最盛を前に意識統一

J A いちご生産部会



イチゴを確認しながら意見交換する生産者

出荷目ぞろえ会を開きました。出荷開始に伴い、出荷規格の確認と栽培管理や病害虫防除を指導。低温や寡日照による成り疲れを防止、品質の良いイチゴを長期にわたって安定出荷するため、着果調整や加温、追肥などで草勢維持に努めるよう呼び掛けました。

12/20

## 体拭きなど施設で利用を

J A ハートフル川崎支部



タオルが入った箱を入居者に贈呈

入居者の体拭きや施設清掃に役立ててもらいたい元気に過ごしてほしいと願い、グループホーム（川崎）に部員が集めたタオル70本を贈りました。菅原君代支部長は「感染症対策をしながらできるボランティア活動を考えて行っていききたい」と話しました。

12/25

## 年末年始楽しく過ごして



渡部俊幸園長⑥にりんごジュースなどを手渡す佐藤一則組合長

児童養護施設一関藤の園に旬の果物などを贈り、施設で暮らす子どもたちが年末年始を楽しく健やかに過ごすことを願いました。JAりんごジュースの他、取引のある青果市場の協力により提供されたミカンや柿、ゼリーなどをJA役職員が施設に届けました。

12/24

## 千厩の味と香りを全国へ

千厩うまっこ便実行委員会



箱詰め作業をする生産者

40回目を数える千厩町の特産品を集めた「千厩うまっこ便」の箱詰め作業と出発式をJA南部園芸センターで行いました。事前に申し込みのあったA・Bコース約370個にりんごや新米、生シイタケなどを真心込めて詰め込み、無事届くことを祈りました。

1/5

## 実り豊かな 新年を願って

盛岡市中央卸売市場の初市式と初競りが開かれ、管内の農畜産物を乗せた宝船が5万円で競り落とされ、先の良いスタートを切りました。宝船には、管内で生産されたイチゴやリンゴ、生シイタケなどを乗せ、「いわて南牛」の精肉と「金色の風」を添えました。



高値を喜ぶJA佐藤一則組合長(左)ときゅうり部会の菅原正一部会長

1/7

## 高値取引を祈願し初出荷

JA肥育牛部会



初出荷に向けて計量を行う関係者

いわて南牛の令和7年初出荷式を開きました。生産者やJA関係者が玉串をささげ拝礼し、今年1年の安全な出荷と高値販売、産地の発展を祈願しました。去勢11頭と雌1頭がトラックに積み込まれ、東京食肉市場に向け初出荷し、1月10日に販売されました。

1/9

## 高値販売祈って取引開始

JA全農いわて



高値取引に願いを込めて鏡開き

当JA管内の和牛子牛の初競りが県南家畜市場で行われました。初競りに先立ち、関係機関の代表者の鏡開きとJAの佐藤一則組合長の乾杯で、今年度の取引のスタートを祝い、高値販売を祈願しました。去勢牛115頭、雌70頭が販売されました。

12/28

## 五穀豊穰願いしめ縄奉納

7区注連縄の会(平泉)



毛越寺の山門に大しめ縄を取り付ける会員

大しめ縄を毛越寺に奉納し、山門への飾り付けを行いました。大しめ縄は、長さ6メートル、重さは約50キロ、中央の最も太い部分の胴回りは1.1メートル。5つの房と4本の紙垂が取り付けられています。会員10人が、五穀豊穰と平和を願い、心を込めて作り奉納しました。

1/15

## 営農組織の園芸導入図る

一関地方農林業振興協議会



集落営農組織の園芸導入について理解を深めた研修会

一関地域集落営農組織のための園芸導入研修会を開きました。集落営農組織や農業生産法人、関係機関から61人が参加し、園芸生産に取り組む優良経営体の事例紹介や情報交換が行われました。参加者からは、労働力確保の方法や収支について質問が寄せられました。

1/15

## 安定生産に向けて 剪定学ぶ

J A果樹部会りんご専門部

リンゴ剪定指導会を管内2園地で開き、管理作業の効率化や安定生産に必要な枝の整え方、剪定のポイントを確認しました。花芽率は平年を上回っており、気温が高く生育が進むことが予想されることから、早めに剪定作業を進めることを呼び掛けました。



剪定のポイントを学ぶ生産者

1/20

## 種まき前に要点の確認を J A野菜部会豆類専門部



資料に目を通し注意点を確認する生産者

スナップエンドウ栽培管理指導会を開きました。令和7年のハウス作型の種まきが始まるのに合わせて、圃場準備や病害虫防除の確認を行いました。園芸課の菅原夏音職員は「トンネルやわらを利用して、温度確保に努めてほしい」と呼び掛けました。

1/20

## 体験の取り組み情報交換



各小学校の稲作体験活動を共有

令和6年度稲作体験事業に係る意見交換会を開き、管内の小学校での稲作体験学習に対する活動報告や課題などを共有しました。小学校からは「田んぼを観察する機会を増やしたい」「近代化した農業も体験させたい」などの要望があり、生産者と意見交換しました。

1/21

## いわて牛枝肉共励会入賞 いわて牛普及推進協議会



入賞した及川さん(左から2人目)、千葉さん(左から3人目)

第35回いわて牛枝肉共励会の審査・販売が東京食肉市場で開かれました。岩手県内で生産された黒毛和種67頭が出品。当J A管内からは11頭が出品され、審査の結果、及川正一さん(藤沢)の去勢牛が優秀賞に、千葉大さんが優良賞に輝きました。

1/23

## 家の光掲載レシピを調理 J A女性部東山中央支部



那須野さん⑥から料理を学ぶ部員

家の光料理講習会を開きました。生活シーダーの那須野敬子さん(東山)が講師を務め、鮮やかな見た目を楽しまながらサラダを味わえる「サラダ寒天」やおからとハクサイでヘルシーに仕上げた「おからギョーザ」など4品を作り、彩り良く盛り付け、味わいました。